

JAPAN KAMPO MEDICINES MANUFACTURERS ASSOCIATION (JKMA)

日本漢方生薬製剤協会

GUIDE

2011



自然とともに健やかに



日本漢方生薬製剤協会

芳井 順一

会長挨拶

日本漢方生薬製剤協会（以下、日漢協）は会員会社の事業分野が多岐に亘ることから、平成21年度に5つの業態別会議と6つの機能別委員会を組織し、活動して参りました。

医療用医薬品に関しては、平成22年度より「新薬創出・適応外薬解消等加算」が試行的に導入されました。当協会としては日薬連に対し、医療用漢方製剤および生薬の新たな薬価制度の導入に関し、「保健医療上必要性の高い医薬品の安定供給」として提案し、特に生薬に関しては、最低薬価制度の適用についても提案を行いました。一方、一般用漢方製剤に関しては、承認基準が設定され、平成22年には23処方、平成23年には27処方が追加され、一般用漢方製剤によるセルフメディケーションへの貢献が期待されています。

また、漢方医学、漢方薬、生薬を取り巻く国際情勢の急激な変化に対応する為に、ISO対応WG、生物多様性条約対応WG、PIC/S対応WGを組織横断的に設置し、その対応を図っています。各々のWGは個別に活動していますが、これらのWGは関連する課題も多いことから、今後さらに連携する必要があると考えています。

平成23年度は平成19年5月に策定した「中長期事業計画2007（5ヵ年計画）」の最終年度であり、これまでの進捗を踏まえて平成23年度の業態別会議の重点課題を以下の通りとしました。

- 医療用漢方製剤会議：「品質の良い製品を安定的に供給できるよう薬価制度改革に関する対応・流通適正化および有用性研究の推進」
- 生薬会議：「原料生薬の品質確保と安定確保のための的確な対応」
- 一般用漢方製剤会議：「一般用漢方製剤の普及、振興に向けた適正使用推進のための情報提供活動と的確な薬事対応」
- 生薬製剤会議：「新たな生薬製剤の承認取得に向けた関係団体も含めた諸調整の仕組み作り並びにモデルとなる生薬製剤の開発企画書の作成」
- 原薬エキス会議：「日局に収載されている漢方エキスの品質、日局収載候補漢方エキスの収載原案の作成、局外規および局外生規の見直し」

会員会社がそれぞれの事業分野での活動を積極的に推進するために、この業態別会議をさらに進化・発展させるべく、協会一丸となって取り組んで参ります。

日漢協の概要

★設立

日漢協は、日本国内で生薬を原料とした漢方製剤・生薬製剤の製造業者（輸入販売業者を含む）と販売業者並びに生薬原料関係業者によって、昭和58（1983）年7月21日に設立されました。

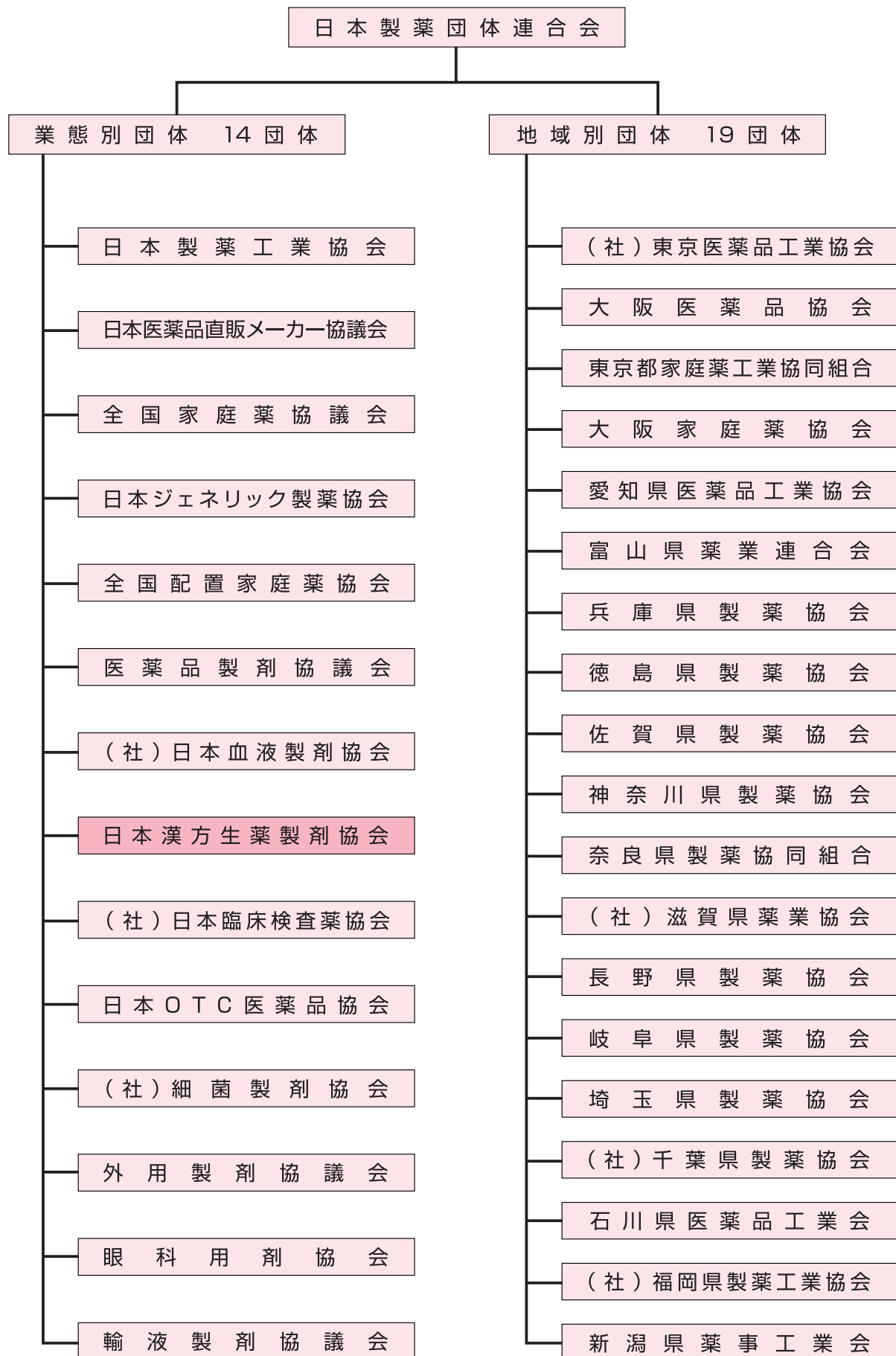
★目的

日漢協は、会員相互の密接な連携のもと、高品質な漢方製剤、生薬製剤および生薬を継続的に安定供給し、その役割と機能を高めることによって、漢方製剤、生薬製剤および生薬の普及、定着と発展を図り、医薬品業界の発展と国民の皆様の健康に貢献することを目的としております。

★現況

日漢協は、日本の全医薬品産業を代表する組織である日本製薬団体連合会（日薬連）に業態別団体として加盟しており、平成23（2011）年9月1日現在の会員会社は75社となっております。

関連団体



平成23年度 事業計画

■事業計画の策定にあたって

平成23年度は、日漢協の「中長期事業計画2007(5ヵ年計画)」最終着地年度にあたる5年目であり、計画達成のために重要な年度である。

昨年度を振り返ると、平成22年4月には「新一般用漢方210処方」に23処方が追加された。また第16改正日本薬局方では新規の生薬や漢方エキスが追加収載される。さらに、厚労省内に設置された統合医療プロジェクト、および厚生労働科学研究費特別研究事業で漢方医学などの伝統医療が取り上げられ、一定の成果がおさめられた。

しかしながら、日漢協を取り巻く環境は依然厳しく、中国主導で進められている伝統薬の世界標準化(ISO)、生物多様性条約の遺伝資源のアクセスと公正かつ衡平な利益配分(ABS)などの課題が新たに浮上り国際的にも的確な対応が求められている。

そのような中、各業態別会議の当面の課題は

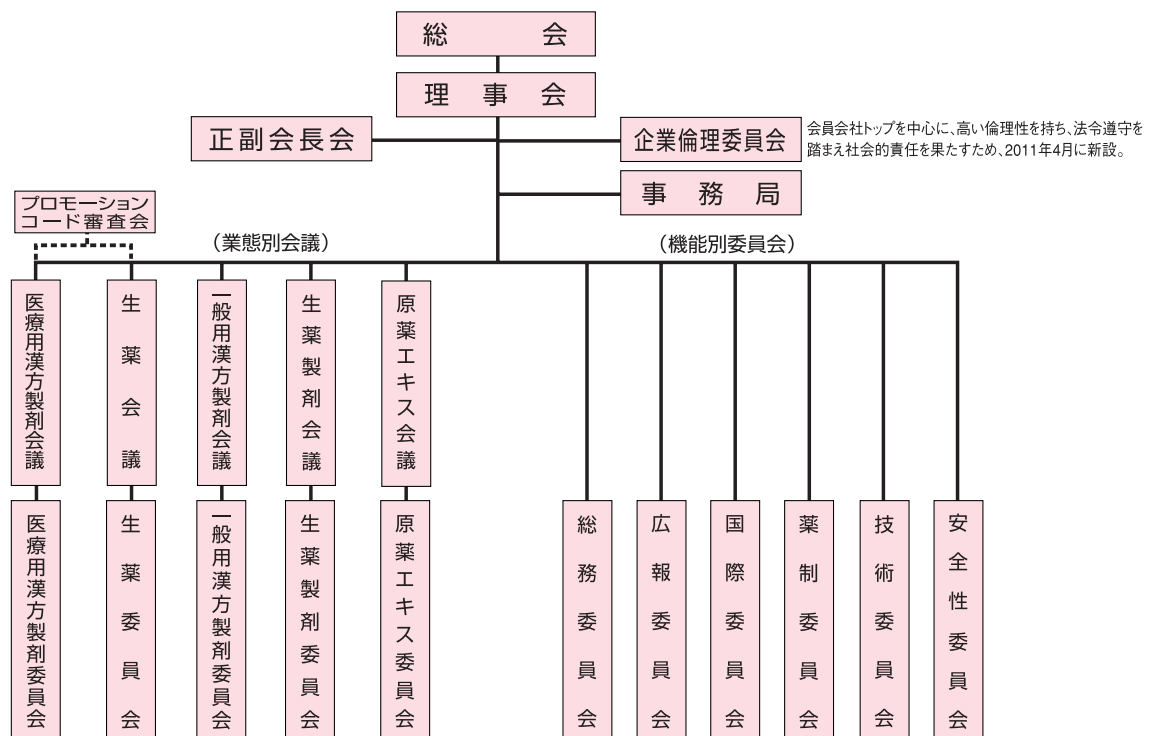
- ①医療用漢方製剤会議は、「品質の良い製品を安定的に供給できるよう薬価制度改革に関する対応・流通適正化および有用性研究の推進」
- ②生薬会議は、「原料生薬の品質確保と安定確保のための的確な対応」
- ③一般用漢方製剤会議は、「一般用漢方製剤の普及、振興に向けた適正使用推進のための情報提供活動と的確な薬事対応」
- ④生薬製剤会議は、「新たな生薬製剤の承認取得に向けた関係団体も含めた諸調整の仕組み作り並びにモデルとなる生薬製剤の開発企画書の作成」
- ⑤原薬エキス会議は、「日局に収載されている漢方エキスの品質、日局収載候補漢方エキスの収載原案の作成、局外規および局外生規の見直し」

などである。

また、「地球温暖化対策の取り組み」では、日薬連自主行動計画への参加を明確にするとともに、日本経済団体連合会より要請のある、「事業活動全般における企業倫理への取組み」に真摯に向き合えるように体制を整える必要があり、適時、適格な情報開示をすみやかに行なえる企業体質強化が図れるよう、日漢協の会員会社の意識向上に努めていきたい。

以上のとおり、医療環境の変化や国民の健康意識の高まりの中、新たな医療ニーズに対応できるよう、下記の平成23年度の事業方針を持って取り組む。

日本漢方生薬製剤協会組織図



平成23年度 日漢協事業方針

1. 原料生薬の品質確保の強化

●担当：生薬会議、原薬エキス会議、技術委員会

- 1) 原料生薬の残留農薬、重金属、微生物などの安全性にかかわる品質確保を継続する。あわせて最終製剤である漢方製剤・生薬製剤や中間製剤（原薬エキス）についても、引き続き品質確保を強化する。
- 2) 生薬栽培で使用されている農薬の実態調査を進め、その後の管理等について検討する。
- 3) 日局未収載生薬の収載並びに既収載生薬の見直しを継続的に推進する。また、漢方エキスの日局収載、生薬の局外生規への収載等についても積極的に対応する。
- 4) 漢方GMPの主眼である「生薬を管理する責任者」の育成強化を図る。また、漢方GMPについて関係諸国との相互理解を深める。

2. 原料生薬の安定確保の推進

●担当：生薬会議、国際委員会

- 1) 原料生薬に関する流通実態を把握し、的確な対応を行う。
- 2) 生薬栽培技術に関する調査とその継承を図る。
- 3) 関係機関と連携し、種苗の確保を図る。
- 4) 国際機関との人的交流を深めて情報収集を図る。

3. 一般用漢方製剤・生薬製剤等の開発と育成活動の強化

●担当：一般用漢方製剤会議、生薬製剤会議、原薬エキス会議、薬制委員会、技術委員会

- 1) 一般用漢方製剤・生薬製剤の許認可および市販後対策に関する対応を推進する。
- 2) 漢方エキス等の日局収載に伴う一般用漢方製剤・生薬製剤の対応を推進する。
- 3) 新一般用漢方210処方に関する的確な薬事対応を推進する。
- 4) 一般用漢方製剤の適正使用を推進する。
- 5) 生薬製剤の開発と育成に対する活動を強化する。

4. 医療用漢方製剤・生薬の有効性・安全性に関する

エビデンスデータ集積

●担当：医療用漢方製剤会議、生薬会議、安全性委員会

- 1) 医療用漢方製剤および生薬のエビデンスデータを幅広く集積する。
- 2) 日本東洋医学会が推進するエビデンス収集活動を業界として協力していく。
- 3) 医療用漢方製剤の再評価に適切に対応する。

5. 医療用漢方製剤・生薬にかかわる薬価制度改革への対応

●担当：医療用漢方製剤会議、生薬会議

- 1) 平成24年度薬価制度改革に向け、日薬連などの他業界団体と協力し取組みを推進する。

6. 漢方製剤・生薬製剤・生薬に関する国際調和と連携

●担当：国際委員会、医療用漢方製剤会議、生薬会議、一般用漢方製剤会議、生薬製剤会議、原薬エキス会議、広報委員会、技術委員会

- 1) 原料生薬、残留農薬等に関し、中国等生薬産出国との定期交流を図り情報交換を行う。
- 2) 漢方薬に関する伝統薬教育プログラムやエビデンス文献集の整備等、WHO（世界保健機構）への対応を実施する。
- 3) ISO対応WGを中心に生薬や伝統薬に関する地域的或いは国際的な情報を収集し、会員間での共有化を図るとともに、関連団体へ働きかけていく。

7. 日漢協としての団体活動の強化

●担当：全業態別会議、全機能別委員会

- 1) 「中長期事業計画2007（5カ年計画）」の推進を図る。
- 2) 「中長期事業計画2012（5カ年計画）」の策定に向けた相互の連携を図る。
- 3) 「地球温暖化対策への取り組み」を図る。
- 4) 関係諸団体との連携強化を図る。
- 5) 効果的な広報活動を行なうとともに、会員に対する的確な情報発信を行う。
- 6) 企業倫理への対応を図る。
- 7) 事務局機能の強化を図る。

●医療用漢方製剤会議

1. 保険薬価制度に関する事項
2. 流通適正化に関する事項
3. 教育研修に関する事項
4. 有用性研究に関する事項について

●生薬会議

1. 中国での使用農薬実態調査
2. 原料生薬の残留農薬、重金属等の安全性に関わる品質確保
3. 生薬の安定確保のための施策の検討推進と生薬種苗の維持・確保
4. 生薬栽培技術に関する調査と技術の承継
5. 原料生薬に関する流通実態の把握および的確な対応
6. 日本薬局方(以下・日局)未収載生薬の収載並びに既収載生薬の見直しおよび継続・推進
7. 保険薬価制度に関する事項について
8. ワシントン条約関連について
9. 生物多様性条約に関する事項について
10. 原料生薬(中国産)の価格等に関する調査について
11. その他講師派遣について

●一般用漢方製剤会議

1. 新一般用漢方210処方に関する的確な薬事対応推進について
2. 一般用漢方製剤の適正使用推進について
3. 一般用防風通聖散製剤のAUR(使用実態調査研究:Actual Use Research)について

●生薬製剤会議

1. 新たな生薬製剤の承認取得に向けた開発企画の推進
2. エビデンスデータの収集・整理

●原薬エキス会議

1. 日局への漢方エキス収載等に関する事項
2. 単味エキス等の輸入実態調査並びに公的基準化に関する事項
3. 原薬エキスの品質に関する事項
4. 原薬エキスの製造用水に関する事項
5. 原薬エキスに係る薬事・法規に関する事項
6. その他の事項

●プロモーションコード審査会

1. プロモーションコード抵触事項の審査に関する事項について
2. 製品情報概要の審査に関する事項について

● 総務委員会

1. 事業報告、事業計画に関する事項
2. 中長期事業計画に関する事項
3. 予算、決算の管理に関する事項
4. 学術講演会などに関する事項
5. 漢方製剤等の生産動態に関する事項
6. 協会活動の効率的推進に関する事項
7. 委員会に属さない渉外業務、庶務に関する事項

● 広報委員会

1. 一般生活者に対する啓発活動の強化
2. 行政・業界団体・教育機関等に対する啓発活動の強化
3. 日漢協のより広範囲なアピールと情報提供
4. 日漢協会員に対する情報共有化と意見収集の推進
5. メディア対応の強化

● 国際委員会

1. 世界に向けた日本の漢方薬の有用性などの情報発信に関する事項
2. 生薬や伝統薬の国際情報の収集および情報共有化に関する事項

● 薬制委員会

1. 一般用医薬品販売制度の円滑な推進と適切な薬事対応について
2. 新一般用漢方210処方に対する適切な薬事対応について
3. 平成17年施行薬事法改正に関する事項(経過措置期間が3月末終了)
4. 日薬連・薬制委員会の関連報告

● 技術委員会

1. 生薬の日局収載について
2. 漢方エキスの日局収載について
3. 漢方製剤・生薬製剤・生薬の安全性に関わる品質の確保について
4. 医薬品等品質基準(以下・GMP)の推進・強化について
5. 製剤総則改正案への対応について
6. 講演会の開催

● 安全性委員会

1. 日漢協統一「使用上の注意」改訂等の安全対策の迅速な実施と徹底
2. 漢方・生薬製剤の安全確保と適正使用推進
3. 各種安全性情報(一般情勢・学術情報)の共有と検討
4. 会員相互の研鑽
5. 添付文書記載要領変更への対応
6. 行政および薬業他団体との連携と意見具申
7. 薬業他団体および委員会等との連携と対応について
8. 再評価に対する的確な対応について

「業態別会議」「機能別委員会」の役割

医療用漢方製剤会議

医療用漢方製剤会議は、医療用漢方製剤を取り扱う会員会社および医療用漢方製剤の原薬エキスを扱う会員会社15社で構成される。



●議長
芳井順一・(株)ツムラ

流通適正化部会
●部会長
小笠原秀一郎・クラシエ薬品(株)

有用性研究部会
●部会長
新井一郎・(株)ツムラ



医療用漢方製剤委員会
●委員長
豊川峻輔・(株)ツムラ

教育研修部会
●部会長
石田雅規・(株)ツムラ

保険薬価研究部会
●部会長
安藤潤・(株)ツムラ

1. 医療保険制度に関わる事項(生薬会議と共同実施)
2. 医療用漢方製剤の薬価に関わる事項
3. 医療用漢方製剤に係る公正競争規約に関する事項
4. 医療用漢方製剤に係るプロモーションコードの策定と周知徹底
5. 医療情報担当者(医療用漢方製剤)の教育に関する事項
6. 症例報告・委託研究のあり方に関する研究
7. 医療用漢方製剤に係る有用性評価に関する情報収集と調査研究
8. 医療用漢方製剤の再評価に関する事項
9. 医療用漢方製剤適正使用の審査に関わる事項

生薬会議

生薬会議は、原料生薬を取り扱う会員会社(自家消費・販売)および「調剤用」などの最終製品たる生薬を取り扱う会員会社35社で構成される。



●議長
内田尚和・(株)ウチダ和漢薬

生薬栽培部会
●部会長
吉村宏昭・(株)ツムラ

生薬企画部会
●部会長
佐々木博・日本粉末薬品(株)



生薬委員会
●委員長
浅間宏志・(株)ウチダ和漢薬

生薬流通部会
●部会長
秋葉秀一郎・(株)ウチダ和漢薬

1. 生薬の品質に関わる事項
2. 生薬に係る局方収載に関する事項
3. 生薬に係る残留農薬等不純物に関する事項
4. 医療保険制度に関わる事項(医療用漢方製剤会議と共同実施)
5. 生薬の薬価に関わる事項
6. 生薬に係る公正競争規約に関する事項
7. 生薬に係るプロモーションコードの策定と周知徹底
8. 医療情報担当者(生薬)の教育に関する事項
9. 中国における農薬の使用実態調査
10. 原料生薬の流通実態の調査・把握
11. 生薬の栽培(国内外)に関わる事項
12. ワシントン条約に関わる事項
13. 生薬適正使用の審査に関わる事項
14. 生薬に係る食薬区分に関する事項

一般用漢方製剤会議

一般用漢方製剤会議は、一般用漢方製剤を取り扱う会員会社47社で構成される。



●議長
小沢博・クラシエ薬品(株)



一般用漢方製剤委員会
●委員長
処方部会
●部会長
大窪敏樹・クラシエ薬品(株)

くすり相談部会

●部会長
森慶二・小太郎漢方製薬(株)

適正使用推進部会

●部会長
小笠原秀一郎・クラシエ薬品(株)

1. 一般用漢方製剤の許認可、品質確保等に関する事項
2. 一般用漢方製剤の適正使用推進に関する事項
3. 一般用漢方製剤の情報提供に関する事項
4. 一般用漢方処方の見直し(新210処方)に関する事項

生薬製剤会議

生薬製剤会議は、生薬を配合した一般用医薬品を取り扱う会員会社42社で構成される。



●議長
小林豊・小林製薬(株)



生薬製剤委員会
●委員長
和田篤敬・小林製薬(株)

制度研究部会

●部会長
池上敬彦・大正製薬(株)

製剤開発部会

●部会長
若林健一・小林製薬(株)

1. 生薬製剤の許認可、品質確保等に関する事項
2. 生薬製剤の適正使用推進に関する事項
3. 生薬製剤の情報提供に関する事項

原薬エキス会議

原薬エキス会議は、チンキ剤、乾燥エキス剤など中間原料の各種エキスを製造している会員会社8社で構成される。



●議長
桑野彰一・日本粉末薬品(株)



原薬エキス委員会
●委員長
佐々木博・日本粉末薬品(株)

1. 原薬エキスに係る公定書収載に関する事項
2. 原薬エキスの製造用水に関する事項
3. 原薬エキスに係る薬事・法規に関する事項
4. 原薬エキスの品質に関する事項

総務委員会



●委員長

総務部会

●部会長

秋田富夫・(株)ツムラ

企画部会

●部会長

松本良三・小太郎漢方製薬(株)

環境部会

●部会長

歌川博幸・(株)ツムラ

1. 協会の予算・決算等の管理に関わる事項
2. 協会の事業報告・事業計画の策定
3. 協会活動の効率化の推進
4. 委員会・組織など協会組織体の検討
5. 会則・諸規定の見直し整備に関わる事項
6. 地球温暖化対策への取り組みに関わる事項
7. 協会会員会社向け講演会の企画・運営に関わる事項
8. 業態別会議の運営サポート
9. 業態別会議と機能別委員会の仲介業務

広報委員会



●委員長

中島実・(株)ツムラ

1. 協会活動の広報に関する事項
2. 漢方・生薬の啓発活動に関する事項
3. 報道機関等の取材対応に関する事項
4. ホームページの維持管理に関する事項

国際委員会



●委員長

塩本秀己・大正製薬(株)

1. 漢方・生薬等に関する国際交流の推進
2. 漢方・生薬等に係る国際情報の収集と共有化に関する事項
3. 漢方用語の英語統一化と情報発信に関わる事項
4. その他国際業務に関わる事項

薬制委員会



●委員長

栗田宏一・クラシエ薬品(株)

1. 薬事制度に関する事項
2. 漢方・生薬製剤の薬事法関連法規および関係通知の調査研究
3. 規制緩和推進に関する事項
4. 関係行政機関および諸団体との連絡並びに意見具申
5. 食薬区分に関わる事項

技術委員会



●委員長

富塚弘之・(株)ツムラ

試験法部会

●部会長

近藤誠三・小太郎漢方製薬(株)

不純物試験法部会

●部会長

小此木明・クラシエ製薬(株)

技術品質部会

●部会長

片桐仁史・(株)ウチダ和漢薬

生薬品質部会

●部会長

横倉胤夫・日本粉末薬品(株)

1. 製剤・原料等の品質に関わる事項
2. 局方収載に関わる事項
3. 残留農薬等不純物に関わる事項
4. 医薬品GQP/GMPに関わる事項
5. 国際調和(FHH、ICHなど)における品質に関わる事項

安全性委員会



●委員長

再評価部会

●部会長

上之園秀基・(株)ツムラ

1. 協会統一「使用上の注意」改訂等の安全対策に関わる事項
2. 漢方・生薬製剤の安全確保と適正使用推進に関わる事項
3. 各種安全性情報(一般情勢・学術情報)の共有・検討に関わる事項
4. 行政および薬業他団体との連携と意見具申
5. 医療用漢方製剤の再評価に関する事項

プロモーションコード審査会

プロモーションコード審査会は、医療用漢方製剤・生薬のプロモーションの適正な実施と確保を推進し、医療用漢方製剤会議・生薬会議に参加する会員会社のうち5社で構成される。



●代表委員

小笠原秀一郎・クラシエ薬品(株)

製品情報概要実務部会

●部会長

山村敏弘・(株)ツムラ

1. プロモーションコードに抵触する事項の審査に関する事項
2. 製品情報概要の審査に関する事項

役員一覧

(50音順)

役名	氏名	会社名	役職
会長	芳井 順一	株式会社ツムラ	代表取締役社長
副会長	内田 尚和	株式会社ウチダ和漢薬	代表取締役社長
同	小沢 博	クラシエ薬品株式会社	代表取締役社長
同	大西 政夫	小太郎漢方製薬株式会社	代表取締役社長
同	小林 豊	小林製薬株式会社	代表取締役社長
同	桑野 彰一	日本粉末薬品株式会社	代表取締役社長
常務理事	渡邊 喜久彦	日本漢方生薬製剤協会	
理事	牛丸 理	アルプス薬品工業株式会社	代表取締役
同	鳥居 正男	エスエス製薬株式会社	代表取締役会長兼社長
同	森 清子	大杉製薬株式会社	代表取締役社長
同	太田 美明	株式会社太田胃散	代表取締役社長
同	辻 将央	大峰堂薬品工業株式会社	代表取締役社長
同	堀 正典	救心製薬株式会社	代表取締役社長
同	高橋 邦夫	剂盛堂薬品株式会社	代表取締役社長
同	阪本 勝義	株式会社阪本漢法製薬	代表取締役会長兼社長
同	佐藤 誠一	佐藤製薬株式会社	代表取締役社長
同	渡邊 康一	三宝製薬株式会社	代表取締役社長
同	増淵 猛善	三和生薬株式会社	代表取締役社長
同	佐々木 正則	ジェーピーエス製薬株式会社	代表取締役社長
同	波留 亨一	伸和製薬株式会社	代表取締役社長
同	伊部 幸顕	ゼリア新薬工業株式会社	代表取締役社長
同	高橋 利夫	第一三共ヘルスケア株式会社	代表取締役社長
同	柴田 高	大幸薬品株式会社	代表取締役社長
同	上原 明	大正製薬株式会社	代表取締役会長兼社長
同	宇佐美 通	大鵬薬品工業株式会社	代表取締役社長
同	杉本 雅史	武田薬品工業株式会社	ヘルスケアカンパニープレジデント
同	建林 佳壯	株式会社建林松鶴堂	代表取締役社長
同	大字 祥仁	帝國漢方製薬株式会社	代表取締役社長
同	栃本 和男	株式会社栃本天海堂	代表取締役社長
同	佐々 義廣	日水製薬株式会社	代表取締役社長執行役員
同	尾崎 幸雄	松浦薬業株式会社	代表取締役社長
同	塩澤 太朗	養命酒製造株式会社	代表取締役社長
同	藤井 隆太	株式会社龍角散	代表取締役社長
同	吉野 俊昭	ロート製薬株式会社	代表取締役社長(COO)
同	田中 和雄	株式会社和漢薬研究所	代表取締役会長
監事	水野 昌樹	アスゲン製薬株式会社	代表取締役社長
同	大草 貴之	大草薬品株式会社	代表取締役社長
同	湧永 寛仁	湧永製薬株式会社	代表取締役社長
会頭	風間 八左衛門	株式会社ツムラ	日漢協前会長
顧問	伊藤 敏雄	株式会社ウチダ和漢薬	日漢協元副会長
同	喜里山 隆之	カネボウ薬品株式会社	日漢協元会長
同	中川 健	カネボウ薬品株式会社	日漢協元副会長
同	水野 陽介	カネボウ薬品株式会社	日漢協元副会長
同	三谷 康人	カネボウ薬品株式会社	日漢協元会長
同	大西 重樹	クラシエ薬品株式会社	日漢協前副会長
同	今泉 英壽	第一三共ヘルスケア株式会社	日漢協元副会長
同	桑野 輝一	日本粉末薬品株式会社	日漢協元副会長
事務局長	石原 猛	日本漢方生薬製剤協会	

※会頭・顧問は退任時会社名

会 員 一 覧

(50音順)

平成23年9月1日現在

会社名	〒	住 所	電話番号
アサヒフードアンドヘルスケア株式会社	130-8602	東京都墨田区吾妻橋1-23-1 アサヒビル本部ビル7階	03-5608-2771
アスゲン製薬株式会社	461-8531	愛知県名古屋市東区泉2-28-8	052-931-1212
甘利香辛食品株式会社	612-8081	京都府京都市伏見区新町13丁目295	075-621-2447
アルプス薬品工業株式会社	509-4241	岐阜県飛騨市古川町向町2-10-50	0577-73-2021
イスクラ産業株式会社	103-0027	東京都中央区日本橋1-14-2	03-3281-3362
一元製薬株式会社	171-0043	東京都豊島区要町3-4-10	03-3957-2997
株式会社ウチダ和漢薬	116-8571	東京都荒川区東日暮里4-4-10	03-3803-9656
工スエス製薬株式会社	103-8481	東京都中央区日本橋浜町2-12-4	03-3668-4511
大草薬品株式会社	238-0023	神奈川県横須賀市森崎1-17-15	046-834-1193
大杉製薬株式会社	545-0002	大阪府大阪市阿倍野区天王寺町南1-1-2	06-6629-1716
株式会社太田胃散	112-0011	東京都文京区千石2-3-2	03-3944-1311
大峰堂薬品工業株式会社	635-0051	奈良県大和高田市大字根成柿574	0745-22-3601
株式会社カーヤ	564-0062	大阪府吹田市垂水町3-4-11	06-6368-9730
株式会社金井藤吉商店	101-0044	東京都千代田区鍛冶町1-9-11 石川COビル1F	03-3256-1028
株式会社紀伊国屋漢薬局	101-0021	東京都千代田区外神田1-2-14	03-3255-2771
救心製薬株式会社	166-8533	東京都杉並区和田1-21-7	03-5385-3211
クラシエ薬品株式会社	108-8080	東京都港区海岸3-20-20 ヨコソーレインボータワー6F	03-5446-3300
小城製薬株式会社	541-0045	大阪府大阪市中央区道修町2-5-8	06-6231-1803
小太郎漢方製薬株式会社	531-0071	大阪府大阪市北区中津2-5-23	06-6371-9106
小西製薬株式会社	579-8012	大阪府東大阪市上石切町2-33-11	072-981-2429
小林製薬株式会社	541-0045	大阪府大阪市中央区道修町4-4-10 KDX小林道修町ビル	06-6231-1144
劑盛堂薬品株式会社	640-8323	和歌山県和歌山市太田二丁目8-31	073-472-3111
株式会社阪本漢法製薬	530-0057	大阪府大阪市北区曾根崎2-7-4	06-6131-1200
佐藤製薬株式会社	107-0051	東京都港区元赤坂1-5-27	03-5412-7310
株式会社三九製薬	930-0314	富山県中新川郡上市町若杉55	076-472-1011
三恵製薬株式会社	146-0082	東京都大田区池上3丁目10-14	03-3751-1771
三宝製薬株式会社	161-8541	東京都新宿区下落合2-3-18	03-3952-0231
三和生薬株式会社	321-0905	栃木県宇都宮市平出工業団地6-1	028-661-2411
ジェーピーエス製薬株式会社	224-0023	神奈川県横浜市都筑区東山田4-42-22	045-593-2050
新生薬品工業株式会社	635-0103	奈良県高市郡高取町大字清水谷1269	0744-52-3330
伸和製薬株式会社	103-0014	東京都中央区日本橋蛸殻町1-29-1	03-3639-9771
新和物産株式会社	541-0045	大阪府大阪市中央区道修町1-5-3	06-6202-4671
有限会社杉原達二商店	136-0071	東京都江東区亀戸2-7-10	03-3637-1453
ゼリア新薬工業株式会社	103-8351	東京都中央区日本橋小舟町10-11	03-3663-2351
全薬工業株式会社	112-8650	東京都文京区大塚5-6-15	03-3946-1111
第一三共ヘルスケア株式会社	103-8541	東京都中央区日本橋小網町1-8	03-6667-3200
大晃生薬有限会社	464-0084	愛知県名古屋市千種区松軒1-5-12	052-722-2205
大幸薬品株式会社	564-0032	大阪府吹田市市内本町3-34-14	06-6382-1021
太虎精堂製薬株式会社	651-0076	兵庫県神戸市中央区吾妻通2-1-27	078-232-1015
大正製薬株式会社	170-8633	東京都豊島区高田3-24-1	03-3985-1111
大鵬薬品工業株式会社	101-8444	東京都千代田区神田錦町1-27	03-3294-4527

会社名	〒	住 所	電話番号
株式会社タキザワ漢方廠	330-0804	埼玉県さいたま市大宮区堀の内町2-623-1	048-687-4455
武田薬品工業株式会社	103-8668	東京都中央区日本橋2-12-10	03-3278-2501
株式会社建林松鶴堂	110-0015	東京都台東区東上野4-3-1	03-3843-3831
株式会社ツムラ	107-8521	東京都港区赤坂2-17-11 赤坂シグマタワービル	03-6361-7201
帝國漢方製薬株式会社	769-2701	香川県東かがわ市湊636-1	0879-25-2221
東亜薬品株式会社	939-3548	富山県富山市三郷26	076-478-5100
陶陶酒製造株式会社	162-0826	東京都新宿区市谷船河原町1 エスワンビル2階	03-5229-1011
株式会社東洋薬行	113-0033	東京都文京区本郷6-19-7	03-3813-2263
株式会社栃本天海堂	530-0053	大阪府大阪市北区末広町3-21	06-6312-8425
長野県生薬株式会社	388-8006	長野県長野市篠ノ井御幣川879-2	026-293-6671
長野県製薬株式会社	397-0201	長野県木曾郡王滝村100-1	0264-46-3003
有限会社荷居屋	424-0815	静岡県静岡市清水区江尻東1-3-13	054-366-0218
日医工株式会社	930-8583	富山県富山市総曲輪1-6-21	076-432-2121
日水製薬株式会社	110-8736	東京都台東区上野3-23-9	03-5846-5611
日本新薬株式会社	601-8550	京都府京都市南区吉祥院西ノ庄門口町14	075-321-1111
日本粉末薬品株式会社	541-0045	大阪府大阪市中央区道修町2-5-11	06-6201-3801
日野薬品株式会社	541-0045	大阪府大阪市中央区道修町2-3-15	06-6231-5847
フィプロ製薬株式会社	123-0863	東京都足立区谷在家3-10-6	03-3855-7011
福田商店	633-0054	奈良県桜井市阿部新町477	0744-42-2307
福田龍株式会社	530-0047	大阪府大阪市北区西天満1-5-11	06-6364-5861
本草製薬株式会社	468-0046	愛知県名古屋市中天白区古川町125	052-892-1287
松浦薬業株式会社	466-0054	愛知県名古屋市昭和区円上町24-21	052-883-5151
三国株式会社	541-0045	大阪府大阪市中央区道修町2-4-10	06-6231-2357
三星製薬株式会社	639-2216	奈良県御所市153	0745-65-2130
株式会社宮忠	541-0046	大阪府大阪市中央区平野町1-5-15	06-6203-7161
メルスモン製薬株式会社	332-0003	埼玉県川口市東領家2-35-6	048-223-1755
ハツ目製薬株式会社	134-0091	東京都江戸川区船堀2-14-14	03-3680-0005
株式会社ヤマダ薬研	577-0807	大阪府東大阪市菱屋西4-1-19	06-6722-0586
山本漢方製薬株式会社	485-0035	愛知県小牧市多気東町156	0568-77-2211
養命酒製造株式会社	150-8563	東京都渋谷区南平台町16-25	03-3462-8111
株式会社龍角散	101-0031	東京都千代田区東神田2-5-12	03-3866-1177
ロート製薬株式会社	544-8666	大阪府大阪市生野区巽西1-8-1	06-6758-1231
株式会社和漢薬研究所	160-0022	東京都新宿区新宿1-29-8	03-3354-0681
湧永製薬株式会社	532-0003	大阪府大阪市淀川区宮原4-5-36	06-6350-3555

刊行物及びHP

日本漢方生薬製剤協会では、漢方の啓発・普及活動として、『日漢協ニュースレター』『日漢協ガイド』、小冊子を発行。ホームページでも定期的に情報を提供しています。

● ホームページ



<http://www.nikkankyo.org/>



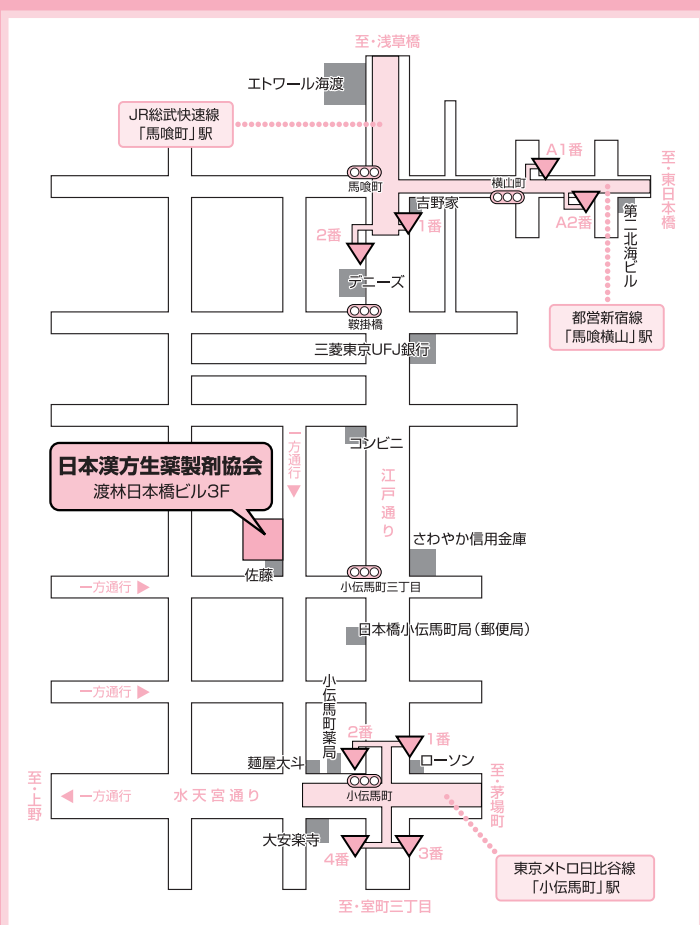
● ガイド（日本語版）



● ニュースレター



● 小冊子



- 東京メトロ日比谷線「小伝馬町」駅下車(2番出口)…徒歩3分
 - JR総武快速線「馬喰町」駅下車(1番出口)…徒歩3分
 - 都営地下鉄新宿線「馬喰横山」駅下車(A1・A2番出口)…徒歩5分
- ※ JR総武快速線「馬喰町」駅と、都営地下鉄新宿線「馬喰横山」駅は地下で接続していて相互に行き来できるようになっていますので、出口番号にご注意下さい。

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町16-19
 渡林日本橋ビル3F
 TEL 03-3662-5757 FAX 03-3662-5809
<http://www.nikkankyo.org/>